

児童養護施設におけるケアの質の構成概念に関する考察

—施設職員のインタビュー調査から—

○ 花園大学 梅谷 聡子 (9110)

木内 さくら (大阪公立大学・8074)

キーワード：児童養護施設・ケアの質・構成概念

1. 研究目的

児童養護施設は子どもが施設を選ぶ仕組みではない措置制度であり、施設長の親権代行的等の規定もあるほか、被虐待児が増加し施設運営の質向上が必要であることから、第三者評価が義務付けられている。ケアの質と評価に関して、ケアの定義と測定が困難であることは多くの先行研究が指摘する共通した見解である(長澤 2012:135)。また、筒井(2016:130)は、ケアの質を「社会におけるひとつの構成概念」としており、質の捉え方は、「その人の立場によってさまざまに異なり、一方では特定の人々の価値観と認識の領域に、他方では、その人のケアやケアに関する労働の考え方に影響される」と述べている。

しかし、ケアの質を評価するにあたっては、その実践領域においてケアの質が何を指すのかを提示しておくことが肝要であると考えられる。児童養護施設の第三者評価基準は、児童養護施設運営指針をもとに作成されているが、実際にケアを担う施設職員の立場からは、ケアの質はどのように捉えられているのだろうか。本研究では、施設職員へのインタビュー調査を通して児童養護施設におけるケアの質の構成概念を明らかにしたうえで、ケアの質を担保するための課題を提示することを目的とする。

2. 研究の視点および方法

2025年3月～2025年5月の期間に、児童養護施設5箇所の5名の職員への半構造化インタビュー面接を行った。調査対象者は、経験年数5年以上の中堅からベテランの児童養護施設職員とした。中堅からベテランの職員を対象とする理由は、一定の経験年数を経た職員が、施設評価やケースへの関与について、より多くの経験を有していると考えられるためである。インタビュー内容は、調査対象者が考える「うまくいった実践」「うまくいかなかった実践」とその理由、利用者や同僚、地域、第三者評価等による施設評価に対する考え等である。インタビューの際、調査対象者の承諾を得て、ICレコーダーを用いて録音を行った。また、録音データを基に逐語録を作成し、土屋(2016)のテーマティック・アナリシス法を参考に分析を行った。

3. 倫理的配慮

本研究は、2022～2027年度科学研究費補助金(国際共同研究強化(B))「福祉サービスの質と政策評価—東アジア3ヵ国(日本・韓国・中国)を中心に—」(22KK0024)の助成を受けた。調査実施にあたっては、調査協力が任意であること、個人情報保護されること等

について対象者へ説明を行い、同意を得た。本調査は、一般社団法人日本社会福祉学会「研究倫理規程」を遵守し、また、花園大学研究倫理審査委員会の承認を得て実施している(2025年1月29日、承認番号2024-17)。本報告に関連し、開示すべきCOI関係にある企業等はない。

4. 研究結果

ケアの質については明確な定義がなされていない。したがって、本研究ではDonabedian(1980=2007)の医療の質の考え方を前提とした、日本看護質評価改善機構(2022)の看護の質の定義を参考として、ケアの質を次のように操作的に定義することとする。すなわち、本研究においてケアの質とは、ケアの技術的側面、対人関係的側面、設備環境等を含めたすべての状況を考慮したうえで、ケアの対象者の利益(福利)を最大化するものである

本研究の結果、施設職員の視点によるケアの質の構成概念として、【ケアの理念】【ケアの目的】【ケア方法】の3つのテーマが生成され、テーマごとに複数のサブカテゴリーが生成された。【ケアの理念】は〈権利擁護〉〈安全・安心〉〈自立〉の3つのサブカテゴリーから成り、これらの理念を【ケアの目的】【ケアの方法】とより具体的なレベルに反映することが目指されていることが確認された。

一方で、障害を有する子どものケアにおいて、より特性に合わせた養育環境が必要なこと、さらに、小規模化や職員の入れ替わり等により、ケアの意味を職員間で共有しチーム養育の基盤を維持することになど、ケアの質の担保に関して課題が生じていることも明らかになった。

5. 考察

本研究では、児童養護施設のケアの質の構成概念を【ケアの理念】【ケアの目的】【ケアの方法】の3つの段階で明らかにした。小規模化によるチーム養育の課題や特性のある入所児童へのケアなど、近年の社会的養護の政策方針や入所児童の傾向のもと、ケアの質を担保するための課題が生じていることも確認された。今回は限られた対象者へのインタビュー調査であったため、本研究の結果をふまえより多くのデータを収集し、結果の妥当性を検証することが今後の課題である。

【参考文献】

Donabedian, A. (1980) Explorations in Quality Assessment and Monitoring (Volume I) : The Definition of Quality and Approaches to Its Assessment. Health Administration Press. (=2007, 東尚弘訳『医療の質の定義と評価方法』認定NPO法人健康医療評価研究機構。) / 長澤紀美子 (2012) 「ケアの質の評価指標の開発と課題-国際的な動向とイギリスにおけるアウトカム指標を中心に」『季刊社会保障研究』48(2) 133-151 / 日本看護質評価改善機構 (2022) 『看護ケアの質評価と改善』医学書院 / 土屋雅子 (2016) 『テーマティック・アナリシス法-インタビューデータ分析のためのコーディングの基礎』ナカニシヤ出版 / 筒井孝子 (2016) 「ケアの質評価 : 国際的な到達点と日本の今後」『社会保障研究』(1), 129-147